

たかくまだより

R6.10.5 第6号 高塚熊野神社



ヤタカラ君

お知らせ 第6回 月例文化講座

10月26日(土) 15:00~

会場 = 熊野神社拝殿

演題 = 「人が生きる意味」

講師 = 戸塚昌宏宮司

*全12回の内、8回以上参加の皆様には記念品を差し上げます。

高塚南北子ども会共催

神様教えて

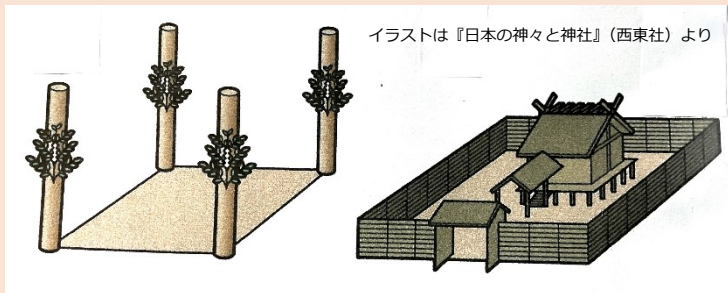


今回は、清水統真君(小学6年生)からの質問です。

Q 神社は何のために作られたの？

神社とは、神様を祭るために作られた空間、場所、施設のことを言います。元来は、祭りの度(たび)に作られる臨時の施設で、土地を清め、四隅(よすみ)に神と人を分ける境目を示す榊(さかき) = 境木を立てて聖なる空間を作り、そこに、神様をお招きしたのです。

その後、仏教が伝来し、寺院に仏様を祭る常設(じょうせつ)のお堂が建てられたため、その影響で常設の建物としての神社が建てられるようになったと考えられています。



イラストは『日本の神々と神社』(西東社)より

四隅に榊(さかき)を立て、神様が降臨(こうりん)する聖なる空間 = 神社を作りました。



玉垣(たまがき)で人の世界と隔られた神聖な空間に、常設の建物が建てられるようになりました。



現代でも、地鎮祭(じちんさい)などの時には、臨時の施設を作ってそこに神様をお招きします。

ニュース

十五夜祭

9月限定の“月見バーガー”が販売されるなど、「お月見」は現代の私たちにも比較的なじみ深い伝統行事です。熊野神社でも9月17日の『中秋の名月』に十五夜祭を行いました。



トピックス

FMHaro たかくまだより 第4月曜午前10:30~



第2回放送後、谷本尚穂アナと記念撮影

8月26日の第2回には、戸塚宗伯(むねのり)禰宜(ねぎ)と巫女(みこ)の大城みなみさんが出演しました。



第2回放送

神社公式キャラクター「ヤタカラ君」まるごと解説！



ヤタカラ君は、熊野大神の使者で三本足の「八咫烏(やたがらす)」です。キャラクター作者の山本さんによれば、八咫烏が初代神武天皇を大和まで道案内したという日本神話から、旅人を想起させる菅笠(すげがさ)をかぶせ、足には草鞋(わらじ)を履(は)かせたということです。

ヤタカラ君には、首から提(さ)げている物の違いによって3つのパターンがあります。①三種の神器(さんしゅのじんぎ)のひとつである勾玉(まがたま) (左図)、②三つ巴(ともえ)紋付きのしめ縄(右図)、③「たかくま」の文字入りお守り(右端図)の3つです。あなたの好きなパターンはどれですか？

